

## 【 臨床研究に関する情報の公開 】

大腿骨転子部骨折で当院を受診された患者さまの試料・情報を用いた医学系研究に対する  
ご協力のお願について

項 目	内 容
1. 研究課題名	大腿骨転子部骨折患者の術後整復位が回復期リハビリテーション病棟退院時の歩行能力に及ぼす影響
2. 研究の対象者	2017年4月1日から2021年3月31日の間に、当院のリハビリテーション（以下、リハビリ）科において大腿骨転子部骨折の診断に対してリハビリ加療を受けられた方
3. 研究期間	令和 4年 1月 20日 ～ 令和 4年 3月 31日
4. 研究実施体制と研究責任者	研究実施箇所：関西電力病院 リハビリテーション部 研究責任者：リハビリテーション部 神崎 佑介 共同研究機関：なし 資料・情報提供機関：なし
5. 本研究の意義・目的	大腿骨転子部骨折患者は退院時の歩行能力が生命予後に関与するとされており、歩行の再獲得は重要です。近年、大腿骨転子部骨折患者の歩行能力に関連する因子として年齢、術前歩行能力、認知症の有無、骨折の重症度、整復位などが報告されています。特に術後整復位は骨折の治癒過程や痛みに影響するため、退院時歩行能力に関連すると考えられます。しかし、術後整復位が歩行能力に及ぼす影響は十分に検討されていません。そこで、当院の回復期リハビリ病棟に入院した大腿骨転子部骨折患者の術後整復位が退院時の歩行能力に及ぼす影響について検討することとしました。
6. 研究の方法	本研究は後方視的研究です。診療録（カルテ）より身体機能評価や画像検査、生理検査などを情報収集し、それらの結果を用いて先行報告と比較し当院の成績を調査します。またその結果に術後整復位が治療成績に及ぼす影響を検討します。個人の特定が可能な情報は解析に用いません。特に患者様に新たにご負担頂くことはありません。
7. 研究に用いる試料・情報の種類	性別、年齢、患側、エバンス分類、在院日数（急性期・回復期）、術式、同居人の有無、整復位（越智分類）、病前移動能力（清水の分類）、既往症（認知症、脳卒中既往、その他）、術後合併症（DVT/感染/転位（頸体角）/カットアウト）、カットアウト指標（sliding量）、リハ実施単位数 <身体機能> 膝伸展筋力、歩行速度、TUG、疼痛（安静時、荷重時）、ROM（屈曲・伸展・外転）、筋力（外転、膝伸展） <アウトカム> 歩行自立度（FIM移動項目6点以上）、在宅復帰率、FIM効率（入棟時FIM、退院時FIM）
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	患者様の診療情報・データ等は、解析する前にID・氏名・生年月日等の個人情報削り、代わりに新しく符号をつけ、個人が特定できないようにした上で、当院のパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。 データ廃棄の際は複数名で完全にデータを消去したことを確認します。
9. 個人情報の保護について	情報収集には、診療IDや患者識別コード等を用いることで匿名化されています。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者へ知られたりすることはありません。 研究にご自身の臨床データや試料を提供したくない場合は、11. 問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出ください。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10. 情報管理責任者	関西電力病院 リハビリテーション部 神崎 佑介
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 リハビリテーション部 神崎 佑介 電話：06-6458-5821（代表）